



昭和二十五年を迎えて

日本鑛業協會會長 岡部 楠 男

國民待望の講和條約は如何なる方法で開かれ、どのような内容で締結されるであらうか。昭和二十五年は日本歴史の一段階であり、われわれ日本國民にとつては、意義深い年であらう。この年頭に立つて、わが金屬鑛業界のすぎし一年をかえりみるに多難にして波瀾の一路であつたと云い得よう。

經濟九原則、ドツヂ・ライン等の一連の經濟政策によつて直接、間接企業への壓迫は強く、鉛、亞鉛に續いて銅補給金の撤廢、配給統制の解除と同時に、統制價格より自由價格への復歸等は三六〇圓爲替レートの決定と相俟つて、戦時中の亂掘、無理な増産による疲弊の回復しない鑛山は、丸裸で國際競争場裡にさらされることになつた。金屬鑛業も來るところまできたように思われる。

終戦五年、この邊で政府の確たる鑛業政策を得て、業界としては陽光來春の喜びを迎えたいところであるが、さて昭和二十五年の金屬鑛業界の進路は如何であらうか。もとより金屬鑛産物が國際商品である性質上、國際情勢、海外の市況、需要が企業に敏感に影響するものである以上、國內事情のみより今後の鑛業界の見通しを速断することはできない。

シヨープ勤告に基く税制改革は當初期待したごとく企業負擔の軽減とならず、固定資産の大きな鑛山業としては、固定資産税、資産再評價等は却つて過重負擔が慮られる。また、貨物、電力料金の値上は、直に生産費の大巾増嵩となり經營に與える影響は大きい。補給金撤廢以來銳意合理化經營に敢闘しつゝある鑛業界の前途に更に新たな障壁が負荷されてきた。

加うるに昨年下半年よりの金詰りの急迫は、増資、社債等による自己資金調達を

日本鑛業協會誌 (第三卷第一號)

新年號目次

(卷頭言) ☆昭和二十五年を迎えて……………岡部楠男……………三

☆銅とアルミニウム……………五

☆産金政策の世界的動向……………平岡廣助……………二

☆電解マンガンの最近十年間の發達
ラッセル・H.ベネット……………三
志保井利夫 譯……………三

☆地方税中鑛業關係取扱例……………三〇

☆米國地質調査所の鑛物資源調査計画……………三

(スポット) ☆金山再建と復元資金……………四

▽ニュース……………三

◇岡部會長國鐵貨物等級審議
會委員に委嘱◇全國鑛山探
掘報告會◇西脇親雄氏
歸國報告會◇全國鑛山安全週
間中央表彰◇水質汚濁防止法
案第七國會提出見送りか◇ア
メリカ鑛業界狀況調査視察の
ため鑛山業界代表渡米◇二十
四年第四、四半期電力假割當
決定……………三

▽資料

鑛石類輸送実績……………三
鑛帆船および汽船……………二
鑛産物價格日米比較表……………四
生産実績その他……………四
鑛山部門……………三
製鍊部門……………三
電力部門……………三